

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年補遺版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)リコフューチャーハウス新築工事	階数	地上4F
建設地	海老名駅土地区画整理事業施行地区仮換地5街区4地2画地	構造	S造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	395 人
気候区分		年間使用時間	4,550 時間/年
建物用途	事務所、飲食店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年7月 予定	評価の実施日	2015年6月20日
敷地面積	1,235 m ²	作成者	(株)入江三宅設計事務所
建築面積	728 m ²	確認日	2015年6月20日
延床面積	2,433 m ²	確認者	(株)入江三宅設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 参照値: 100%
 建築物の取組み: 81%
 上記+ 以外の: 78%
 上記+: 78%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 周辺との調和を図った外装デザインとし、地域に受け入れやすい建物となるよう通り沿いのファサードの配慮や屋外広場をもたせた計画とした。		その他 共用部の照明についてLEDを採用。
Q1 室内環境 施設利用者にとっての良好な環境性能を確保すべく、開口部の遮音等級T-2を確保、また充分な換気量を確保する計画とした。	Q2 サービス性能 バリアフリー新法による建築物移動円滑化基準を満たした計画とした。 外装仕上げは補修間隔が長い素材を選定、また階高を充分に確保して空間にゆとりをもたせた計画とした。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地北側に広場を設けて通り抜け可能な空間を確保している。 まちづくりガイドラインに沿った計画として、プロムナード沿いに塀・柵を設けず、緑の連続性を確保。また、プロムナードに面する部分は段差を設けない計画とした。
LR1 エネルギー 自然エネルギーとして太陽光発電を採用した。	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。	LR3 敷地外環境 日影規制を満たした計画としている、また広告照明は使用しない。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される